

付 属 資 料

付 属 資 料 目 次

A-1	調査団の構成	1
A-2	調査団日程表	2
A-2-1	現地調査時日程表	2
A-2-2	ドラフト・ファイナルレポート現地説明時日程表	4
A-3	訪問先及び面接者	5
A-4	協議議事報（和文）	7
A-4-1	現地調査時議事録	7
A-4-2	ドラフト・ファイナル・レポート現地説明時議事録	12
A-5	協議議事録（仏文）	14
A-5-1	現地調査時議事録	14
A-5-2	ドラフト・ファイナル・レポート現地説明時議事録	22
A-6	収集資料リスト	24

A-1 調査団の構成

(1) 現地調査時

担 当	氏 名	所 属
団 長	松 永 龍 児	国際協力事業団
地下水開発	鎌 田 烈	国際航業株式会社
水理地質	前川統一郎	"
資機材計画	藤 原 邦 夫	"
通 訳	服 部 雅 夫	"

(2) 現地ドラフト・ファイナルレポートの説明等

担 当	氏 名	所 属
団 長	百 虫 章	仙台市水道局
地下水開発	鎌 田 烈	国際航業株式会社
通 訳	服 部 雅 夫	"

A-2 調査団行程表

(1) 現地調査業務日程

月	日	日数	内 容	宿 泊 地
12	13	1	SR 187 成田発 21:00 アンカレッジ・チューリッヒ経由	機中
	14	2	SR 199 ジュネーブ着 8:05	ジュネーブ
	15	3	SR1274 ジュネーブ発 14:30 キンシャサ着 21:45	キンシャサ
	16	4	日本大使館 表敬・打合わせ, REGIDESO 表敬, SNHRにて協議	"
	17	5	農村開発省D' ZBO KALOGI大臣表敬, SNHRにて協議	"
	18	6	現地視察 キンシャサ→ムバンザンガング→キンベセ→マタディ→ボマ	ボマ
	19	7	ボマ→ルクラ→ボマ SNHR N' SIONI支所及び村落水事情調査	"
12	20	8	ボマ→キンシャサ カタラクテスおよびルカヤ地域数ヶ所の水事情調査	キンシャサ
1	21	9	SNHRにて協議, 議事録(案)作成	"
	22	10	議事録署名, 大使館報告	"
	23	11	資料収集(REGIDESO), 現地踏査準備, 日程等の協議	"
	24	12	バ・フルーブ地域へ移動 キンシャサ→ボマ; 官側団員帰国	ボマ
	25	13	資料整理及び電気探査準備	"
	26	14	SNHRと協議 ボマ市内において電気探査	"
	27	15	ボマ→チェラ→シツツアンガなどバ・フルーブ北部の踏査・電探	"
	28	16	ボマ→チェラ→マドウダなどバ・フルーブ北部の踏査・電探	"
	29	17	ボマ→セケバンザを中心としたバ・フルーブ北部の踏査・電探	"
	30	18	ボマ→ルクラ周辺のバ・フルーブ中央部の踏査・電探; 県知事表敬	"
	31	19	ボマ→ムアンダ バ・フルーブ西部の踏査・電探	"
	1	20	資料整理	"
1	2	21	ボマ→フィンジュ→ングエラ→ルクラ→ボマの踏査・電探	"
1	3	22	ボマ→キンザン・ボエテ基地候補地周辺の踏査・電探	"
	4	23	ボマ→ルクラ→ンゾベ 踏査	"
	5	24	ボマ→レンバ 電気探査	"

6	25	セケバンザ近くで、谷と台地の比高差水準測量；資料整理	ボマ	
7	26	ボマ→キンシャサ	キンシャサ	
8	27	大使館報告，SNHRと協議（補足資料について）	〃	
1	9	28	資料整理及びSNHRと今後の方針について協議	〃
月	10	29	資料整理	〃
11	30	SN 376 キンシャサ発 20:20 ラゴス・ブリュッセル経由	機中	
12	31	SN 761 コペンハーゲン着 10:15	コペンハーゲン	
13	32	SK 989 コペンハーゲン発 15:40 アンカレッジ経由	機中	
14	33	成田着 16:55		

(2) ドラフト・ファイナル・レポート現地説明日程

日数	月 日	内 容	宿 泊 地
1	3月13日(日)	成田発 21:30 LH701 アンカレジ・ハンブルグ経由	機 中
2	" 14日(月)	フランクフルト着 7:50	フランクフルト
3	" 15日(火)	フランクフルト発 10:35 LH556 キンシャサ着 20:00	キンシャサ
4	" 16日(水)	農村開発大臣表敬, REGIDESO表敬, SNHR説明, 大使館説明	"
5	" 17日(木)	S N H R 協 議	"
6	" 18日(金)	議 事 録 署 名 キンシャサ → ボマ	ボ マ
7	" 19日(土)	現 地 視 察	"
8	" 20日(日)	ボマ → キンシャサ	キンシャサ
9	" 21日(月)	S N H R 協 議	"
10	" 22日(火)	農村開発大臣表敬・報告・大使館報告 キンシャサ発 21:55 LH557	機 中
11	" 23日(水)	パリ着 10:00 IGN訪問	パ リ
12	" 24日(木)	パリ発 12:20 AF274 アンカレジ経由	機 中
13	" 25日(金)	成田着 14:20	

A-3 訪問先および面会者

Department De L'agriculture et Du Development Rural (農村開発省)		
	D'ZBO KALOGI	農村開発大臣 (現地調査時)
	KAYINGA ONSI N'DAL	農村開発大臣 (ドラフトファイナル説明時)
REGIDESO (水道公社)		
	TSHIONGO TSHIBINKUBULA WA TUMBA	総 裁
	Manuel FERNANDEZ-DIEGO	顧 問
	KADIMA MUAMBA	CNAEA (国家給水監督委員会)
	LUKANDA MULONDA	水文地質技師
	JACQUES HENRY	水文地質専門家
SNHR (農村給水局)		
	LUKONO SOWA	局 長
	OSSAMBA ONA L.	技術部技師
	TALUNGA TUHADI	技術部技師
	VITA WA NGONGO	ンシオニ支所長
	PIRON GUY	技術顧問
	GOYENS GUY	技術顧問
	MPOY MUTOMBO	地質技師
	MBANO	ンシオニ支所技師
フランシスカ修道会ボマ修道院		
	中村 寛子	修道院長
KANGU (カング) 病院		
	MABENGO MAYUNDA	医 師
BAS-FLEUVE REGION (バ・フルーブ県)		
	GAMBEMBO MIKHAMBA-	県 知 事
	MATEMU-a-KELENGE SHAPASA	
Service Presidential D'etudes (大統領府調査局)		
	MUKONKI	局 長
	MUPANDE KAPWA	地質技師
	KAZADI NTAMBWE	地質技師
Bureau D'etudes D'aménagements Urbans (都市輸送局)		
	NUTUNG LAY W'GUL	部 長
	TSHINANGA NSATA	交通室長
気 象 局		
	AKPONGO MONGANODANDI	技 師

在ザール日本大使館

大村 喬一
石川 薫
北沢 寛治
小西 清文
福島 功

JICA 専門家

城田 逐馬

大 使
参 事 官
一等書記官
二等書記官
三等書記官

REGIDESO

A-4 協議議事録（和文）

A-4-1 現地調査時議事録

ザイール共和国バ・ザイール州地下水開発計画基本設計調査に係る協議

議事録

ザイール共和国政府によるバ・ザイール州地下水開発計画プロジェクト（以下プロジェクトと称する）に関する無償資金協力の要請に応え、日本政府は、日本国政府の国際協力の実施機関である国際協力事業団（以下JICAと称する）を通じて、松永龍児氏を団長とする基本設計調査団（以下調査団と称する）を1987年12月13日から1988年1月14日までの33日間ザイール国に派遣した。

調査団はザイール国において現地調査（資料収集・現地視察など）を行うとともに、LUKONO SOWA氏を代表とするザイール国政府関係者（以下「ザ」側と称する）と一連の協議並びに意見の交換を行った。協議への参加者名簿を別添 Aに附す。

調査団及び「ザ」側の双方は、別添 Bに示す協議結果をそれぞれ自国政府に伝達し、プロジェクトの実現に向けて検討するように勧告することに合意した。

キンシャサにて 1987年12月22日

松 永 龍 児
JICA 調査団長

LUKONO SOWA
「ザ側」 協議団長

別添 A

協議出席者名簿

(1) 調査団

<u>氏名</u>	<u>担当</u>	<u>所属</u>
松永 龍児	団長	国際協力事業団無償資金協力計画調査部
鎌田 烈	地下水開発	国際航業株式会社
前川 統一郎	水理地質	同上
藤原 邦夫	機材計画	同上
服部 雅夫	通訳	

(2) ザイール側

LUKONO SOWA

OSSAMBA ONA L.

VITA WA NGONGO

TALUNGA TUHADI

PIRON GUY

GOYENS GUY

LUKANDA MULONDA

SNHR (農村給水局) 局長

SNHR 技術部計画担当技師

SNHR シオニ支所長

SNHR 技術部 さく井担当技師

SNHR 顧問 さく井専門家

SNHR 顧問 計画担当専門家

REGIDESO 水文地質技師

別添 B

協 議 事 項

1. 本プロジェクトはバ・ザール州の農村地域住民に飲料水を供給し、衛生環境の改善と民生の安定及び農業活動の活性化を図る事を目的とし、計画遂行に必要な資機材の調達と井戸建設工事を実施するものである。
2. 本プロジェクトの対象地域は、バ・ザール州のバ・フループ地域であり別添Cに示す範囲とする。
3. 「ザ」側の示した本計画の内容は次の通りである。
 - (1) 本計画は「バ」国政府の策定した国家開発5ヶ年計画（1986年～1990年）の一環をなすもので、計画対象地域内の農村住民に給水するための井戸建設を行うものである。
 - (2) 本計画に対する要請内容は以下の通りである。
 - ・ 削井機および支援機器の調達
 - ・ 村落給水井戸の建設材料の調達
 - ・ 削井機および支援機器のスパーパーツの供給
 - ・ 村落給水井戸及び付帯施設の建設工事
 - ・ 上記に関する設計監理サービス
4. 「ザ」側の本プロジェクトの実施機関は「ザ」国政府・農村給水局（以下SNHRと称す）であり、本プロジェクトの実施・管理・運営に責任をもつものとする。
5. 「ザ」側及び調査団の双方は、調査団が日本国政府による無償資金協力プロジェクトについて「ザ」側に説明し、「ザ」側を、これを理解したことを確認した。
6. 調査団は、日本国政府が無償資金協力の形態における経済協力の枠内で、本プロジェクトの実施に係る協力のための必要な措置をとり、「ザ」国政府により要請のあった別添Dに示す機材と井戸建設工事の内容を調査・検討の上、日本国政府に伝達するものとする。
7. 「ザ」国政府は、日本国政府による本プロジェクトにかかる無償資金協力が実施される場合には、本計画の遂行を円滑に進めるべく、別添Eに示す必要な措置を講ずるものとする。

別添 D

「ザ」側の要望する協力

- | | |
|-----------------|----|
| (1) 掘削機 | 複数 |
| (2) ケーシング | 複数 |
| (3) 探査及び計測器材 | 複数 |
| (4) ポンプ | 複数 |
| (5) 車両 | 複数 |
| (6) 機械工具セット | 複数 |
| (7) 通信器材 | 複数 |
| (8) スペーパーパーツ | 1式 |
| (9) 井戸建設工事 | |
| (10) 倉庫・ガレージの建設 | |
| (11) 技術研修教育 | |

別添 E

ザイール国政府の取るべき措置

1. 井戸建設工事のための用地は、村の了解を得て確保しておくこと。
2. 事務所・資材置場と現場宿舍建設のための用地を確保し、建設が可能なように整地しておくこと。
3. プロジェクトの遂行に必要なデータと情報を日本側に提供すること
4. 「ザ」国におけるプロジェクト向け機材の荷下ろしを遅滞なく行い、通関手続きをすみやかに行う。また、国内輸送を助ける。
5. プロジェクトのために行われる機材の供給、工事及びサービスの提供の範囲内で、プロジェクトを遂行する日本人の安全を確保し、「ザ」国での現行の公課・関税をすべて免除する。
6. プロジェクト遂行のために輸入される機材に対し、輸入許可、ライセンス、公課・関税の免除、その他の許可を取得する。
7. プロジェクトの遂行とプロジェクト管理に必要な施設と「ザ」側要員（1 掘削チームにつき 7 人）を「ザ」側の負担にて提供する。
8. 日本の無償資金協力でまかなわれる以外のプロジェクト費用をすべて負担する。

議 事 録

ザイール共和国バ・ザイール州地下水開発計画
基本設計調査 報告書 (案)

日本国政府は、ザイール共和国バ・ザイール州地下水開発計画基本設計調査の最終報告書 (案) を提出するための調査団を、国際協力事業団を通じて1988年3月13日から3月25日にわたってザイール共和国へ派遣した。

調査団と「ザ」国の関係機関は協議を重ね、付属書に述べたとおりの事柄について合意に達した。

キンジャサ 1988年 3月18日

AKIRA MUKADE

Chef de mission, Agence

Japonaise de Cooperation

Internationale

LUKONO SOWA

Chef de la partie

Zairoise

付 属 書

1. 両者は、1987年12月22日に両者により合意され署名された“議事録”の内容を再確認することに合意した。
2. 「ザ」国側は、提出された最終報告書（案）に盛られた基本設計の基本的事項について了承した。
3. 「ザ」国側は、日本国の無償資金協力の仕組みを理解し、本計画の実現のために、次の述べる事項を建設作業の着手以前に準備する。
 - 1) 基地建設用地、整地、外構工事、排水施設工事
 - 2) 基地内の管理事務所棟、職員用宿舎等の建設
 - 3) 基地建設の受電設備までの引き込み線の材料の調達及び工事並びにその費用負担
 - 4) 水中モーターポンプ設置井の配水施設の建設工事並びにその費用負担
4. 最終報告書（仏文10部）は、1988年6月末に「ザ」国側に提出される予定である。

Etudes pour le planning de base relatif
au projet de Développement des eaux souterraines en
République du Zaïre

Procès - Verbal

En réponse à la demande faite par le gouvernement de la République du Zaïre pour la Coopération non-remboursable sur le Projet de développement des eaux souterraines (ci-après dénommé "le projet"), le gouvernement du Japon a envoyé, par l'intermédiaire de l'Agence Japonaise de Coopération Internationale, agence gouvernementale de coopération technique, une Mission d'études pour le planning de base (ci-après dénommée "la Mission") dirigée par Monsieur Ryuji MATSUNANGA, durant 33 jours, du 13 Décembre 1987 au 14 Janvier 1988.

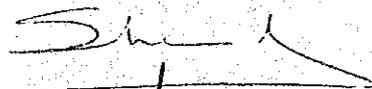
La Mission a effectué des études sur place (documentation et visites sur le terrain) et a eu une série de discussions et d'échanges de vues avec les responsables concernés (ci-après dénommés "la Partie Zaïroise") dirigés par le Citoyen LUKONO SOWA du gouvernement de la République du Zaïre. La liste des participants aux séances de travail se trouve dans l'annexe "A".

La mission et la Partie Zaïroise se sont convenues de soumettre les résultats des séances de travail, mentionnés dans l'annexe "B", à leurs gouvernements respectifs et d'en recommander l'examen en vue de la réalisation du Projet.

Fait à Kinshasa, le 22 Décembre 1987



R. MATSUNANGA
CHEF DE LA MISSION JICA



LUKONO SOWA
CHEF DE LA PARTIE ZAÏROISE.

ANNEXE "A "

(1) la Mission d'études

<u>Nom et Prenom</u>	<u>Fonction</u>	<u>Appartenance</u>
MATSHUNANGA, Ryuji	Chef de Mission	Division des études de Plan de base, Direction de Plan et Etude de la Coopération Financière Non-remboursable, Agence Japonaise de Coopération Internationale.
KAMATA, Akira	Expert, dévelop- pement des eaux souterraines, Directeur de division géologique	KOKUSAI KOGYO CO.,LTD.
MAEKAWA TOHICHIRO	Expert, hydrogéologie	"
FUJIWARA KUNIO	Expert, planning des matériaux	
HATTORI Masao	Interprète	

76

(2)

PARTIE ZAÏROISE

(*)

<u>Nom et Post-Nom</u>	<u>Fonction</u>	<u>Institution</u>
LUKONO SOWA	Chef de Délégation	Directeur National du Service National d'Hydraulique Rurale (SNHR) Département du Dévelop- pement Rural.
OSSAMBA ONA L.	Ingénieur du Génie Rural, chargé des Etudes.	SNHR
VITA WA NGONGO	Ingénieur du Génie Rural, Chef de Station de N'SIONI (BAS-ZAÏRE)	SNHR
TALUNGA TUHADI	Ingénieur Mécanicien	SNHR
PIRON GUY	Conseiller Technique Spécialiste en Forage	SNHR
GOYENS GUY	Conseiller Technique études et Planification	SNHR
MULONDA	Hydrogéologue	REGIDESO.

* Suite annexe A.

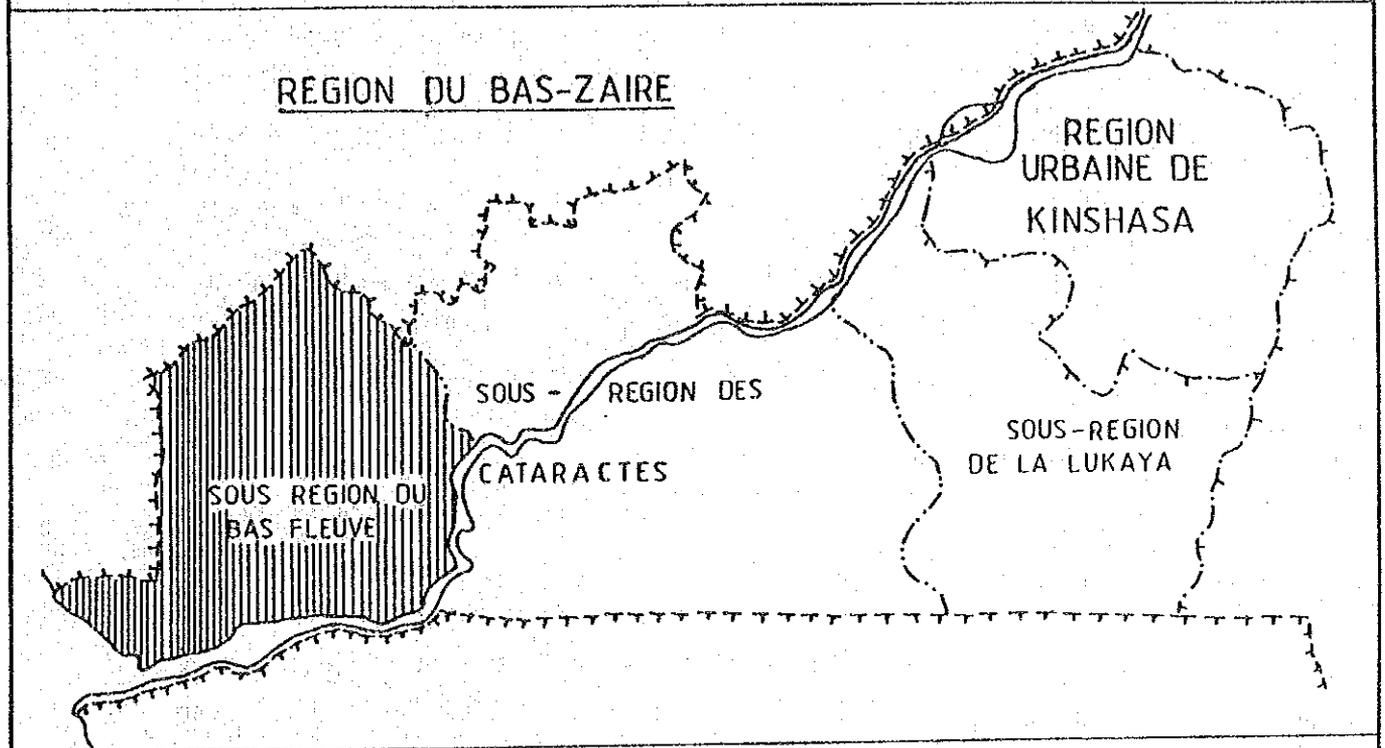
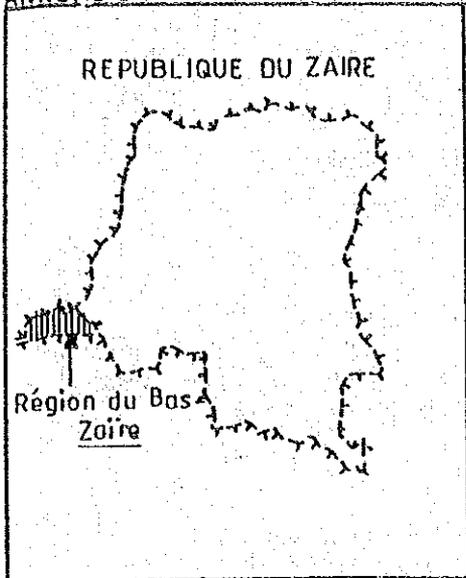
M E M O R A N D U M.

1. Le projet a pour but de fournir, par la coopération financière non-remboursable du Gouvernement du Japon, les matériels nécessaires à l'exécution de forages des puits pour améliorer la situation d'alimentation en eau potable dans les régions rurales du Bas-Zaïre.
- 2.- La Sous-Région faisant l'objet du Projet est celle du Bas-Fleuve (indiquée dans l'annexe "C", dans la Région du Bas-Zaïre)
- 3.- Le contenu de ce projet comme initié par le Gouvernement du Zaïre se présente de la manière suivante :
 - 1) Le présent projet constitue une partie du plan quinquennal de Développement National du Zaïre (1986 - 1990). Il consiste en l'exécution des forages d'eau dans la Sous-Région concernée pour alimenter les habitants de ces milieux ruraux en eau potable ;
 - 2) Le contenu de la présente requête se résume en :
 - . la fourniture des foreuses et matériels d'accompagnement ;
 - . la fourniture des matériaux d'exécution des forages ;
 - . la fourniture des pièces de rechange pour les foreuses et matériels d'accompagnement ;
 - . les travaux d'exécution des forages et de ses installations accessoires ;
 - . le Service de conseil technique sur les travaux mentionnés ci-dessus.
4. - Le Corps d'exécution du projet à la partie Zaïroise est le Service National d'Hydraulique Rurale (ci-après dénommé "SNHR") qui est l'organisme d'exécution, de contrôle et de la gestion dans le cadre du projet.
5. - Les deux parties ont confirmé que la mission a expliqué le système de la coopération financière non - remboursable par le Gouvernement du Japon et que la partie Zaïroise a bien compris le système.

(Suite ANNEXE "B").

6. - La mission soumettra au gouvernement du Japon le résultat et le jugement de ses études concernant le contenu de la requête, soit la fourniture des matériels et les travaux de construction ainsi que la prestation de l'ingénierie conseil qui sont décrits à l'annexe "D" dans le cadre de la coopération économique du Gouvernement du Japon sous forme de la coopération financière non - remboursable.
7. Lors de l'exécution de la coopération financière non-remboursable, par le Gouvernement du Japon, portant sur le Projet, le Gouvernement de la République du Zaïre prendra les mesures nécessaires indiquées dans l'annexe "E".





A handwritten mark or signature in the bottom right corner of the map area.

LA CONTRIBUTION DU GOUVERNEMENT JAPONAIS

1. - Fourniture des plusieurs ateliers de Forage
2. - Fourniture des tubes de casing
3. - Fourniture du matériel d'analyse et de Prospection
4. - Fourniture des pompes
5. - Fourniture des véhicules
6. - Fourniture des trousse de mécaniciens
7. - Fourniture des matériels de communication
8. - Fourniture de pièces de rechange
9. - Fourniture de travaux de forage
10. - Construction d'entrepôts garages et ateliers mécaniques
11. - Assistance Technique et Formation.



LA CONTRIBUTION DU GOUVERNEMENT
DE LA REPUBLIQUE ZAIRE.

1. Réserver l'espace destiné aux travaux de Forage, avec l'accord des villageois
2. Réserver l'espace destiné aux bureaux, entrepôt, maisons des techniciens Japonais, Préparation du site pour la construction;
3. Fournir à la partie Japonaise les données et informations nécessaires à l'exécution du projet.
4. Assurer dans le meilleur délais le déchargement et accélérer les procédures de dédouanement de produits destinés au projet dans la République du Zaïre et de faciliter leur transport à l'intérieur du pays.
5. Les ressortissants Japonais chargés de l'exécution du projet seront assurés de la sécurité et exonérés de tous droits fiscaux ou douaniers en vigueur en République du Zaïre, dans le cadre de la fourniture des matériels, les travaux de construction et les services de conseils technique au profit du projet.
6. Octroyer les permis, licence d'importation, l'exonération de tous droits fiscaux ou douaniers et autres autorisations aux produits importés pour l'exécution du projet.
7. Fournir le personnel national (7 personnes par équipe) et pourvoir aux facilités nécessaires à la gestion du projet.
8. Se charger de tous les frais concernant le présent projet autres que ceux assurés par le programme Japonais de la coopération financière non-remboursable.

PROCES-VERBAL DE DISCUSSION SUR LE PROJET DU RAPPORT FINAL
DE L'ETUDE DU PLAN DE BASE RELATIVE AU PROJET DE DEVELOPPE-
MENT DES EAUX SOUTERRAINES EN REPUBLIQUE DU ZAIRE.

Procès-Verbal

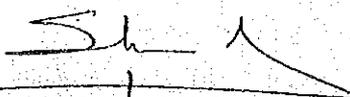
Le gouvernement Japonais a envoyé, par la voie de l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA), une mission d'études de plan de base au Zaïre du 13 au 25 Mars 1988 dans l'objectif de présenter et d'expliquer le projet du rapport final de l'étude du plan de base relative au projet de développement des eaux souterraines en République du Zaïre.

La mission d'études de plan de base et les Autorités concernées de la République du Zaïre ont eu une série de discussions qui ont mené les deux parties à confirmer les résultats cités ci-joints en annexe.

Kinshasa, le 18 Mars 1988.-

百足 章
AKIRA MUKADE

Chef de mission, Agence
Japonaise de Coopération
Internationale (JICA).


LUKONO SOWA



A N N E X E

1. Les deux parties sont convenues de reconfirmer le Procès-Verbal de discussions signé le 22 Décembre 1987.
2. La partie Zaïroise a approuvé les principes du plan de base proposés dans le projet du rapport final.
3. La partie Zaïroise a saisi le système de la coopération financière non-remboursable du gouvernement Japonais.
Elle fera aussi les préparations suivantes qu'elle effectuera pour la réalisation du projet avant le commencement et au cours des travaux de construction.
 - 1) Terrassement, travaux extérieurs et d'assainissement pour la Base.
 - 2) Construction du bureau administratif et logements du personnel dans la Base.
 - 3) Fourniture et raccordement à sa charge des lignes de service au poste récepteur des installations de la Base.
 - 4) Construction à sa charge de l'installation d'alimentation en eau et de drainage pour les puits équipés d'une pompe submersible à moteur.
4. Le rapport final (10 exemplaires en français) sera remis à la République du Zaïre, au mois de Juin 1988.

A-6 収集資料リスト

番号	名 称	備考
1	地形図 ; MUANDA, TSHELA, LUKULA, SEKE-BANZA 各1/20万	コピー
2	地形図 バ・フループ ゾーン 北部 各1/10万	コピー
3	CARTE GEOLOGIQUE DU ZAIRE -FEUILLE NGUNGU- 1/20万	オリジナル
4	CARTE GEOLOGIQUE DU CONGO -FEUILLE LUOZI ET PARTIE ORIENTALE DE LA FEUILLE HBAKU 1/20万	オリジナル
5	NOTICE EXPLICATIVE DE LA CARTE GEOLOGIQUE DE LA REGION DE BOHA (説明書のみ)	コピー
6	ETUDE GEOLOGIQUE DE LA REGION MATADI-INGA-MONOLITHE 1/10万	オリジナル
7	CARTE DES GITES MINERAUX DU ZAIRE 1/200 万	オリジナル
8	ATLAS DU BAS ZAIRE	オリジナル
9	REGIDLSO 深井戸資料 (ボマ)	コピー
10	気象資料 (降雨量, 気温, 湿度, 日照時間) BOHA, MATADI, LUOZI, INGA 1985-1987	コピー
11	DESCRIPTION DU FONCTIONEMENT ET DE L'ORGANISATION DU SNHR	コピー
12	SANTE POUR TOUS(SANRU II)	コピー
13	PROJECT D'APPROVISIONNEMENT EN EAU POTABLE DANS LES SOUS-REGIONS DE MANIEMA , KABINDA, TANGANYIKA	コピー
14	RAPPORT ANNUEL D'ACTIVITES(KANGU)	コピー
15	MOBILE DRILL B-80 カタログ	オリジナル
16	EQUIPE TYPE PAR SONDE	コピー
17	STATION DE SANDOA (景観写真)	オリジナル

JICA